

所 属	農政部 畜産課		
担当(係)名	草地飼料担当	内線	2877

飼料用稲の生産及び耕作放棄地放牧の拡大

< 長期構想推進重点政策枠事業 >

1 事業費	【財源内訳】	【主な用途】
5,300	一般財源 5,300	需用費 2,582(消耗品、印刷製本等)
(前年度 3,300)		手数料 650
		備品購入費 498

2 背景・現状

米の作付面積の減少、農業経営者の高齢化及び野生動物による農作物への食害の拡大などにより、数年以上に渡って耕作されない耕作放棄地が年々増加しており、こうした農地の解消や、農地の荒廃を未然に防ぐための早急な対策が必要である。

3 事業目的

通常の水田管理で生産ができる飼料用稲の作付けを拡大することにより、水田の遊休化を未然に防止するとともに、耕作放棄地に黒毛和牛を放牧することにより耕作放棄地の解消を図る。

4 事業概要

(1) 飼料用稲の生産・利用の拡大支援

生産拡大支援

- ・ 飼料用稲のモデル実証展示圃を設置（飛騨地域、中濃地域）
- ・ 飼料用稲の作付け、収穫等の調整を行うため生産者等と現地検討会を実施

利用拡大支援

- ・ 飼料用米活用研究会の設置（構成員：奥美濃古地鶏生産農家、飼料用米生産農家、農協中央会、飼料メーカー、（社）岐阜県畜産協会、県関係機関）
- ・ 奥美濃古地鶏の発育調査、肉質調査・評価、飼料用米を与えた奥美濃古地鶏のPRを実施

(2) 耕作放棄地放牧の拡大支援

- ・ 「放牧お試しセット(移動式電気牧柵)」の設置
- ・ 放牧調査及び指導、放牧影響調査（水質検査）の実施
- ・ 生産者、農協等と移動式電気牧柵の設置法など放牧技術の現地検討会を実施

(款) 6 農林水産業費 (項) 2 畜産業費 (目) (2) 畜産振興費
(明細書事業名) 自給飼料基盤等対策費
農地の多目的活用支援事業費